

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	人間ドック・定期健康診査のデータを活用した生活習慣病、内分泌・代謝疾患、慢性腎臓病や血液疾患の関連因子と病態に関する疫学的検討
②対象者及び対象期間	
平成 8 年度以降現在までに、労働衛生医学協会の健康診査・人間ドックを受診した健診受診者の皆様が対象です。	
③概要	
労働衛生医学協会と新潟大学医学部血液内分泌代謝内科学講座、生活習慣病予防・健診医学講座の共同研究です。皆様の健康診断のデータと、肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症、高尿酸血症などの生活習慣病や動脈硬化性疾患、心血管疾患、肝疾患、腎疾患、内分泌疾患や血液疾患について、それらの病気と健診データの関連等を疫学的に解析します。また、健康診断の際に採取し検査後に余った血液から得られたデータ（脂質関連項目）と、前述の疾患との関連についても疫学的に解析します。	
④申請番号	2015-2037
⑤研究の目的・意義	疾病の早期発見スクリーニングや病態に関する科学的エビデンスが得られることが期待できます。そして、この研究は、世界や日本人における糖尿病診療ガイドラインの改定の際にも重要な科学的根拠になると思われます。
⑥研究期間	2014 年 1 2 月 1 日から 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	使用する健康診断、人間ドックのデータ並びに余った血液を用いた検査（脂質関連項目）データは、個人が特定されないように新潟県労働衛生医学協会にて匿名化を行い、匿名化されたデータが新潟大学に提供され、研究に使用します。余った血液を用いた検査（脂質関連項目）は、デンカ株式会社より無償で提供された検査キットを使用します。新潟大学以外の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	身体計測データ、呼吸器系データ、循環器系データ、血清脂質系データ、腎・泌尿器系データ、消化管系データ、腹部超音波検査結果、肝・胆・膵系データ、代謝系データ、血液系データ、血清学データ（余った血液を用いて測定する脂質項目を含む）、オプション検査のデータ、総合診断内容、体力測定データ、栄養指導内容、運動指導内容

⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院
⑩試料・情報の管理について 責任を有する者	本学：新潟大学生生活習慣病予防・健診医学講座 特任教授 加藤公則
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学生生活習慣病予防・健診医学講座 氏名：加藤公則 Tel：025-227-2117 E-mail：emh@med.niigata-u.ac.jp